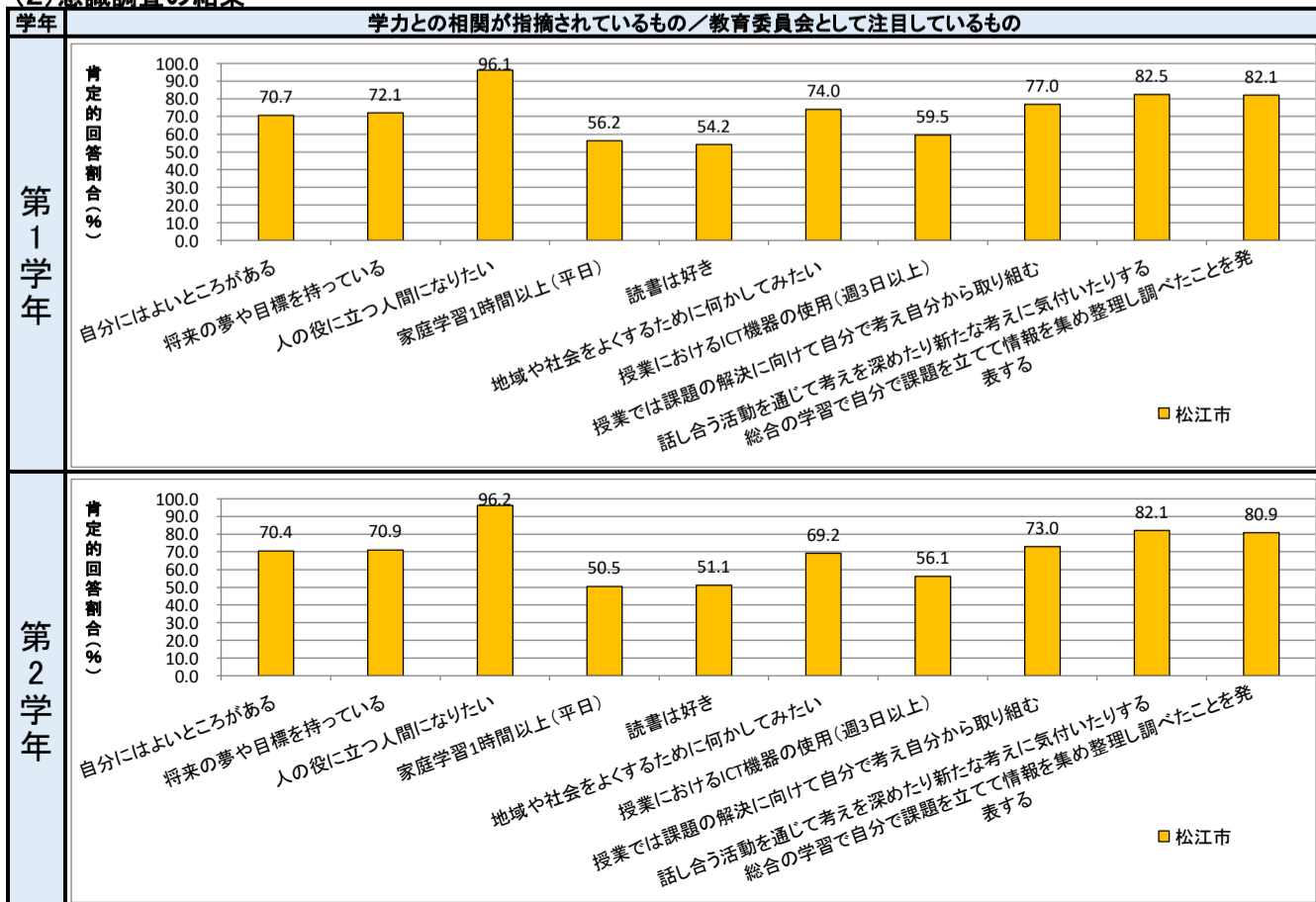


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(●)
第1学年	国語	成果 ○「書く」学習において、書く内容の中心が明確になるように文章の構成や展開を考えたり、表現の効果や、自分の文章の良い点や改善点を考えること。 ○「読む」学習において、説明的な文章の中での情報と情報の関係を把握して読んだり、文学的な文章の中で登場人物の心情など、描写や叙述を基にして内容を捉えたりすること。	・小学校での学習を踏まえ、伝統的な言語文化に親しむ機会を大切に、様々な種類の古典作品を音読・朗読・暗唱するなどして文語特有のリズムに慣れ、古典の世界に慣れ親しむ。 ・問いに対して短答で答えるだけにならないように発問を工夫し、理解したことや考えたことについて文章に書きまとめる学習活動を大切にする。
		課題 ●歴史的仮名遣いやことわざなど、我が国の言語文化に関わる基本的事項の定着度に課題がある。 ●設問の中で、短答式や選択式問題に比べて記述式問題の無回答率が著しく高く、自分の考えを文章に表すことに苦手意識がある。	
	数学	成果 ○点の座標を読み取ること、比例の関係を表す表を選ぶこと、反比例の関係を式に表すなど、比例・反比例の基礎的な問題の正答率が高い。 ○素因数分解の正答率が高く、推定全国値を上回っている。	・かっこの前がマイナスの場合のかっこの外し方について、生徒が仕組みを理解しながら扱えるよう支援するとともに、分数を含む方程式では、等式の性質をどのように活用すればよいかを振り返らせる機会を設ける。また、検算を通して解が正しいかどうかを確認する姿勢が育つよう配慮する。 ・乗除記号の省略に関する規則や、省略を元に戻す際の基本的な考え方について、生徒が理解を深められるよう改めて確認し、負の数を代入する際にはかっこを用いて式を明確に表記するなど、誤りに気付きやすくする方法を意識させていく。
		課題 ●かっこや分数を含む一次方程式を解くことに課題がある。 ●文字式に数を代入し、その式の値を求めることや、文字の意味を理解し条件に合った数の範囲を求めることに課題がある。	
	英語	成果 ○リスニング(さまざまな英文の聞き取り)の正答率が高く、推定全国値に近い水準である。 ○「読むこと」の領域において、文中の語形や語法を正しく判別する知識・技能は、他の領域に比べて定着が見られる。	・授業中に学んだ英語を使った英文を書いたり、身近で日常的なトピックについて書いたりする機会を増やす。ポジティブなフィードバックを積み重ねることで、表現する意欲を高める。 ・英語での対話の機会を増やすとともに、対話の状況や目的に焦点を当てた読み取りについて学ぶ機会を増やす。
		課題 ●3文以上の英作文や場面に於いて書く英作文の正答率が低く、既習の知識を活用してまとめた内容を自分から発信することに課題がある。 ●対話を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して文脈に応じた内容を把握することに課題がある。	
第2学年	国語	成果 ○話すこと・聞くことにおいて、自分の考えが伝わりやすいように表現を工夫し、話し手の考えと比較しながら相手に伝わりやすいように構成を工夫して自分の考えをまとめることができる。 ○言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項において、基本的な理解ができている。	・「読む」学習で、文章の中心的部分・付加的部分、事実・意見など構成や段落の関係を叙述を基にして丁寧に捉えるとともに、原因・結果、意見・根拠など、文章に含まれている情報と情報がどのような関係で結び付いているかを捉え整理しながら読み進めていく学習を行うこと。さらにその文章を発表し合い、意見や感想を書き表す活動を工夫して設定する。 ・問いに対して短答で答えるだけにならないように発問を工夫し、理解したことや考えたことについて文章に書きまとめる学習活動を大切にする。
		課題 ●「読むこと」において、説明的な文章の精査・解釈に課題がある。文章中の情報と情報の関係を正確に把握したり、目的に応じて必要な情報を得て内容を解釈したりすることが難しい。 ●設問の中で、短答式や選択式問題に比べて記述問題の無回答率が高く、自分の考えを文章に表すことに苦手意識がある。	
	数学	成果 ○多角形の内角の和を求める公式をきちんと理解しており、三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることについて正答率が高い。	・一次関数の式とグラフの関係については、切片だけでなくx軸との交点をもつ意味やその求め方を、生徒が自分で整理して理解できるよう指導する。あわせて、様々な問題場面を取り入れて、グラフを図形的に捉える視点が身に付くようにする。 ・文章題で方程式を立てる際には、表や線分図を用いて条件を整理する経験を繰り返し積み重ねるとともに、連立方程式で未知数を消去する手順を定期的に復習する機会をつくり、確実な定着を促す。
		課題 ●一次関数の式とグラフの関係や、グラフとx軸とy軸がつくる領域を図形とみて考察することに課題がある。 ●問題文から、何と何が等しいのかを整理して方程式を作ることや、連立方程式を解くことに課題がみられる。	
	英語	成果 ○日常的な場面における短い英文の聞き取りにおいて、情報の要点を正確に把握する力が身に付いている。 ○単語の並べかえによる整序英作文では、have toなどの基本的な文法事項を適切に用いて文を組み立てる力が維持されている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明確にした言語活動を増やすとともに、グラフや図を活用した対話の機会を増やす。 ・自分の考えをまとめ、発表・表現する場面を設定する。「結論-理由-補足」や「結論-理由-例」などの型を使って表現する活動を設定することで発信力を高める。
		課題 ●「聞くこと」において、対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答える力に課題がみられる。 ●「書くこと」において、自分の考えや理由を、複数の文(3文以上)を用いて論理的に、まとめた文章で発信する力が弱い。	

(2)意識調査の結果



**<傾向と今後の対策、分析>**  
**成果○:強み/伸ばしたい点 について**  
**課題●:弱み/改善を要する点 について**

**【第1学年】**  
 ○人の役に立ちたいという思いをもっている生徒の割合が高い。  
 ○対話的な学びや総合的な学習に対して肯定的回答割合が高い。  
 ●「家庭学習1時間以上」「読書好き」の生徒の割合が低いため、効果的な家庭学習の方法の事例をまとめ市全体で共有したり、「読書好きを育てる」をテーマとした図書館に係る研修を充実させたりする。  
 ●「授業におけるICT機器の活用(週3回以上)」の肯定的回答の割合が低いため、教員向けのICT研修や訪問を充実させ、授業で効果的に活用できるよう支援する。

**【第2学年】**  
 ○人の役に立ちたいという思いをもっている生徒の割合が高い。  
 ○対話的な学びに対して肯定的回答の割合が高い。  
 ●「家庭学習1時間以上」「読書好き」の生徒の割合が低いため、効果的な家庭学習の方法の事例をまとめ市全体で共有したり、「読書好きを育てる」をテーマとした図書館に係る研修を充実させたりする。  
 ●「授業におけるICT機器の活用(週3回以上)」の肯定的回答の割合が低いため、教員向けのICT研修や訪問を充実させ、授業で効果的に活用できるよう支援する。

**【受検者数】**  
 第5学年  名  
 第6学年  名  
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示

**<参考>平均正答率**

	国語	数学	英語
第1学年 松江市	58.1	55.6	51.3
推定全国値と比較して、おおむね良好といえる。			
	国語	数学	英語
第2学年 松江市	51.9	48.6	46.1
推定全国値と比較して、課題があるといえる。			